

踏み出そう新たなステージへみんなの力が新渡戸の未来

10月号

令和2年10月1日号



新渡戸記念 中野総合病院 だより

Nitobe Memorial Nakano General Hospital

東京医療

住所 東京都中野区中央四丁目59番16号

TEL 03-3382-1231 (代) 夜間受付 03-3382-9991

ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> E-mail soumu@nakanosogo.or.jp

第376号
発行人/理事長 入江 徹也
発行責任者/事務局長 横井 悟

「新渡戸記念中野総合病院」5周年を迎えて

東京医療生活協同組合 新渡戸記念中野総合病院 理事長 病院長 入江 徹也

2015年10月に当院の病院名を「新渡戸記念中野総合病院」と改名してから5年が経過しました。5年前に病院名を改名した目的は、歴史を重んじて当院創立の原点に立ち帰り、創立者たちの思いを50年、100年後の将来に引き継ぎ、更には理想の病院を作ることでした。そのために当院の活動理念を「新渡戸稲造博士の精神(誠意と思いやりの心)を基にした医療を誠実に実践し、疾病を抱えた人を真心で支援する」に変更し、理想の病院を実現するための集大成の事業として新病院を建設することを決定しました。中野区も当院が移転先と考えていた旧中野中学校(旧第九中学校)跡地に医療機関を公募により誘致することを決めましたが、現在、医療機関の誘致計画は進展していません。しかし私は活動理念を地道に実践することによって「新病院建設 移転」は必ず成し遂げることが出来ると信じています。

理想の病院は単に「新病院建設」だけでは達成することは出来ません。この5年間、「病院の質」を高める努力として「電子カルテ導入」や「医療安全・感染対策の強化」等を行ってきました。しかし何よりも大切なことは「病院の心・魂」を持つことだと思います。全ての職員が困っている人々、弱い立

場の人々に「どうなさいましたか?」と自然に声をかけ、手を差し伸べ、寄り添うこと、そして悩みを抱えた人々が当院を訪れた時に、何故か心が静かになり安らぎを感じられることが理想の病院のあるべき姿だと思います。

今、私たちはこれまでに経験したことがない新型コロナウイルスによるパンデミックの真只中にいます。新型コロナウイルスは私たちの心に「不安と緊張」を与え、社会には「差別と分断」を生じ、経済的にも多くの人々が経験したことがない程の「景気低迷」を引き起こしています。当院も4月～5月の第一波の際には東京都の要請を受けて新型コロナウイルス診療に参加し、その「恐ろしい力」を身を持って実感しました。しかし、その厳しい体験から私たちは「不撓不屈(Fortitude)」の精神と職員間や地域の人々との「連帯・協力」の重要性を学ぶことが出来ました。闘いは長期に及ぶかもしれませんが、当院は担うべき責務を粛々と遂行し第二波以降の闘いに立ち向かう所存です。

新型コロナウイルスとの闘いを乗り越え、新病院建設という大きな目標を達成するために、組合員の皆様には御指導とご声援を頂きますよう心からお願い申し上げます。

新渡戸記念中野総合病院 がん哲学外来

新渡戸稲造記念センターの樋野 興夫センター長が担当します「がん哲学外来」は、がんに関わるさまざまな悩みを、対話を通して解消する外来です。

対象は、東京医療生活協同組合の組合員およびそのご家族の方で、外来に費用はかかりません。当生協組合員(原則)の方ならどなたでも無料で予約できます。



予約受付 新渡戸記念中野総合病院 患者支援センター

電話 03-3382-1507 受付時間 午前8時30分～午後4時30分

開催予定日 2020年10月6日(火)、10月15日(木)、10月20日(火)、10月27日(火)
1回あたり約50分(1日4組まで)

組合員でない方は
お気軽に予約受付に
ご相談ください。

当院ホームページ上で、樋野 興夫センター長による『言葉の院外処方箋』が毎週更新されています。ぜひご覧ください。

第71回通常総代会を開催いたしました

新型コロナウイルス感染拡大により延期されていた「第71回通常総代会」を、去る8月27日(木)の午後1時半より、中野サンプラザコスモルームにおいて開催しました。

第1号議案から第5号議案までのすべての議案について、いずれも賛成多数で承認をいただきました。最後に役員選挙管理委員長から「役員改選」についての報告がなされ、17名の理事・監事が選任されました。

また、総代の皆さんの慎重なる審議によって、午後3時過ぎに滞りなく終了しました。

今年度も厳しい医療情勢の中、総代や組合員の皆様のお力をお借りして、業務に邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



検査まめ知識

PCR検査

中央検査科技師長 須藤 淳二

コロナ禍でよく耳にするPCR検査ですが、ポリメラーゼ連鎖反応(Polymerase Chain Reaction)の略です。

遺伝子「DNA」の必要箇所に目印をつけて温度を上げ下げしながら調整し、酵素反応を繰り返し、必要な遺伝子配列をネズミ算式に増やせるため、僅かなDNAを大量に増やすことができる方法です。

この方法を発案し実用化した奇オキャリマリス博士は、1944年アメリカ・ノースカロライナ州の出身で、バイオテクノロジー会社の社員でした。博士は1983年のトチノキの花が咲く頃、同僚と自家用車で、夜遅くに

アンダーソン溪谷に向かう山道をぐんぐん進む途中、木々がヘッドライトで照らされていく中で閃き、慌てて路肩に車を止めて、紙に書き留めたそうです。シンプルな方法であったため、「他の研究者が既に思いついているのではないか?」と思ったそうです。この閃きを社内で発表するも、当時同僚は「まともに取り合わなかった」と本人の自叙伝に書かれています。

1993年マリス博士はノーベル化学賞を受賞しました。マリス博士は2019年8月に他界しましたが、生物学や医学などさまざまな分野でPCR法は活用されています。

参考資料：マリス博士の奇想天外な人生



生協組合へのご加入のお願い

新渡戸記念中野総合病院の母体である東京医療生活協同組合は、「消費生活協同組合」の法人です。この生活協同組合は、組合員の皆様からの出資金が経営の基盤になっています。東京都内にご住所がある方、あるいは東京都内の企業に勤務されている方であれば、どなたでも組合への加入の資格があります。

組合に加入するには、出資申込書に出資金(1口200円、5口1,000円より)を添えてお申し込みください。

担当 新渡戸記念中野総合病院 総務課
☎03-3382-1231(代)



組合員の皆様へ

東京医療生活協同組合は、機関紙「新渡戸記念中野総合病院だより」を通して私どもの活動を皆様にお知らせして、皆様との交流を図って参りました。このたび、この活動をさらに発展させ、皆様からのご意見を積極的に聞き取り、当生協の運営に役立てることといたしました。

つきましては、当組合に対するご意見、ご要望を郵便、メール、またはFAXにてお送りくださいますようお願いいたします。なお、ご意見をお送りいただきます際には、ご氏名に加えて必ず組合員番号(組合員証に第〇〇〇〇〇号と記載されています)をご記入いただきますようお願いいたします。



宛先

東京医療生活協同組合総務課

住所 〒164-0011 中野区中央4丁目59番16号

メール soumu@nakanosogo.or.jp **FAX** 03-3381-4799

10月の小児救急体制



10月1日から31日までの、準夜間小児初期救急医療体制は下記の通りです。なお、事情により休診になる場合や、医師の変更もあり得ますのでご了承ください。ご不明な点は、下記夜間受付にお問い合わせ願います。

***血液検査、点滴等の処置、入院等を必要とする場合は他病院を紹介します。**

受付時間 毎日午後6時30分～午後9時45分 **診療時間** 毎日午後7時～午後10時 **夜間受付** ☎03-3382-9991

10月準夜間小児初期救急担当医

日	月	火	水	木	金	土
				1 赤松 信子	2 右田 王介	3 保崎 明
4 清水 泰岳	5 小須賀 基通	6 山岸 千尋	7 由良 明彦	8 奈良 昇乃助	9 清水 泰岳	10 菅波 佑介
11 右田 王介	12 小須賀 基通	13 山田 正興	14 佐和田 哲也	15 赤松 信子	16 右田 王介	17 渡邊 由祐
18 清水 泰岳	19 小須賀 基通	20 高梨 栄	21 久利 由美	22 奈良 昇乃助	23 清水 泰岳	24 菅波 佑介
25 右田 王介	26 小須賀 基通	27 細谷 直人	28 栗津 緑	29 赤松 信子	30 右田 王介	31 高橋 諒

新渡戸記念を支える

職場紹介

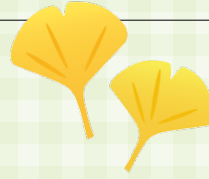
さまざまな関係部署と連携し、事務業務を推進 中野クリニック事務部門

中野クリニック 事務部門 小川 幸男

中野クリニック事務部門の紹介をいたします。中野クリニックは内科を標榜し、血液透析と訪問診療科があります。それぞれに1名ずつ事務担当者があります。

業務内容については、本院の医事課と同様に患者さんの受付・登録・算定(計算)・会計処理・保険請求等の業務を行っています。また、医師会・東京都庁・保健所・市区町村等監督官庁への対応処理も行っております。

患者さんを第一に、医師・看護師・臨床工学士・看護助手・栄養士との連携をとり、業務を行っています。



新渡戸 の 言葉

「新渡戸記念」中野総合病院と正式名称を変更して丸5年が経ちました。奇しくも新渡戸博士の命日(現地時間10月15日午後8時35分;日本時間10月16日午後1時35分)のある10月に病院名を変更していたこととなります。

今回の格言を一言で表すならば、新渡戸博士がお好きであった言葉、誠(honesty)、あるいは無私無欲であると思います。清々しい心映えのある武士道を平和的に体現した人物が、今から100年前に国際連盟事務次長に就任した新渡戸稲造博士(新渡戸稲之助平常瑤)です。しかし、「いざとなると毅然と微動だにしない」姿を思い起すと、孫の加藤武子さんは記しています(『マイグランパ新渡戸稲造』)。この毅然として耐え忍ぶ勇気が“fortitude”です。

新型コロナの第二波とともに暑い夏も過ぎてゆき、虫の音が聴かれるようになりました。しかしWHOがpandemicを宣言して半年、世界での感染者数は3000万人、死者は100万人に迫り、今もインドでは1日千名以上の方が亡くなっています。本邦でも感染対策はまだまだ続き、登山でいえば、1つ1つがジャイアントな南アルプス(赤石山脈)を縦走する心構えでいます。皆様のご協力ご支援をこれからも宜しくお願い致します。

新渡戸記念中野総合病院副院長 山根 道雄



『修養』総説より

新渡戸 稲造

自ら省みて、屑しとし、いかに貧乏しても、心の中
には満足し、いかに誹謗を受けても、自ら楽しみ、
いかに逆境に陥っても、その中に幸福を感じ、
感謝の念をもって世を渡ろうとする。それが、
僕のここに説かんとする修養法の目的である。